

サハリン・樺太から 北海道への引揚げ

終戦から3年後の1948年、5月から12月までの8ヶ月間に樺太から北海道へ引揚げた者は104,494名。

この間に函館引揚援護局が行った「引揚者との座談会」は合計46回。この座談会に関する史料は、70年間にわたって、日の目を見ることなく、眠っていました。この約100枚におよぶ全ての史料を読み解くことは、現代の私たちに何を伝えてくれるのでしょうか。

樺太からの引揚者は、函館引揚援護局を出た後、戦後日本における生活の第一歩をどのように歩み始めたのでしょうか。

講師 | ジョナサン・ブル
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

入場無料・予約不要

アクセスマップ



※駐車場はありません。公共交通機関でお越し下さい。

日時 2018年
6月15日(金曜日) 18:30-20:00

会場 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
4階 大会議室 (403)

アクセス

- A** 人文・社会科学 総合教育研究棟 (W棟) から W棟の正面玄関に入って右へ進み 法学部棟を経由します。
- B** 附属図書館 (札幌駅・北大正門方面) から 附属図書館の正面玄関に入って直進し 渡り廊下を通り法学部棟に接続します。
※附属図書館閉館時はCへ

- ・法学部棟より2階上がります。
- ・法学部棟 **2階**に、当センターへの連絡通路がございます。(他からは接続できません)
- ・当センター2階「事務室」奥の階段、またはエレベーターで **4階**へ上がってください。
- ※各所の頭上に案内板がございます。あわせてご確認ください。

お問合せ



北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター

〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目

電話 | 011-706-2388 (直通) ※土日祝日を除く平日17時まで

FAX | 011-706-4952

E-MAIL | src@slav.hokudai.ac.jp URL | http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/